

# ぎふかれん



No.63 2019年7月発行

発行 NPO 法人 岐阜県精神保健福祉会

〒500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉・農業会館 3階

TEL/FAX 058-271-8169 HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>

## 理事長あいさつ

理事長 山田 偉雄

庭の額紫陽花の青紫が美しく梅雨を感じる季節です。会員の皆さんお元気ですか。

5月の令和元年「ぎふかれん」総会において、今年度事業を決定しました。

県委託事業の3回の講演会を例年通り行いますが、今年は県大会を行いません。次年度に向けて、ミニ県大会の開催を計画します。地域家族会員の皆様が十分に発言・提言できる会をと考えています。

また、電話相談事業を充実し発展させたいと思っています。先般の悲惨な事件等を考えると、まだまだ悩んでおられる家族・当事者が多いことが実感されます。

念願であった事務局長として筒井さんを迎えました。ここ4・5年、「ぎふかれん」の基盤としての地域家族会の存続問題が大きくなってきています。役員の高齢化等で活動が停滞していることがあげられます。今回、情熱あふれた筒井さんに入っただき、存在意義のある「ぎふかれん」へ向けて努力したいと思っています。

病院の拘束・監禁等の実態調査の非公表問題、当事者の引きこもり・暴力・差別・偏見や家族の孤立・疲弊等の問題、当事者就労問題、親亡き後、家族支援問題等が山積しております。

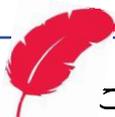
6月の「みんなねっと」総会において、各県連からの報告の中で、家族による家族学習会の効果が紹介されました。また、なかなか進展しないJR等運賃割引問題は「みんなねっと」からの指示連携（JR各社に対して統一交渉）で。また、「ぎふかれん」独自の取り組みも考えます。各自治体間で違う福祉資源面での差別を明らかにし、要求運動につなげたいと思います。また、地域家族会の活性化の為に、各地域家族会の例会への「ぎふかれん」役員の参加も検討したいと思います。今年度1年間、宜しくお願いします

## 事務局長あいさつ

皆様はじめまして。筒井有紀子です。現在52歳です。私が岐阜市あけぼの会に入会して10年近くが経ちました。時代は、混迷を極め人と人とのつながりが希薄になっています。家族も例外ではありません。必要な情報はネットで得る事の出来る時代です。

「孤ならず隣あり」論語の言葉です。この言葉に家族会の存在意義があると私は考えます。「愛することは理解すること」悩み苦しむ人が側にいたら手を差し伸べる。ぎふかれんは、精神障がいに関する啓蒙活動を目的とする組織です。私の持てる力を総動員して頑張ります！宜しくお願いします。

事務局長 筒井 有紀子



この機関紙は、岐阜県共同募金会のご寄付で作成いたしました

# 平成 31 年度 岐阜県精神保健福祉会連合会総会 報告

## 平成 30 年度事業報告

### 「家族による家族のための電話相談」継続事業

毎週 火曜日・木曜日（祝祭日休み）AM10：00～PM3：00

岐阜県精神保健福祉会連合会事務局 相談件数 114 件（平成 30 年度）

電話相談チラシを病院・作業所・保健センター・図書館などに配布。

試験的にメールでの相談にも対応した。

### 「精神保健福祉啓発事業」

#### \* 第 32 回「知ってもらいたい心の病」講演会 （110 名）

平成 30 年 7 月 21 日（土） 場所：坂祝町総合福祉会館 13：30～16：00

講師：児玉 佳也 先生（のぞみの丘ホスピタル 院長・サントピアみのかも施設長）

演題「精神障がい者が、親亡き後に、だれもが安心して地域で暮らすために」

#### \* 岐阜県精神保健福祉研修会 （70 名）

平成 30 年 12 月 22 日（土） 場所：ハートフルスクエア G 大研修室 13：30～16：00

講師：野村 忠良 氏（全国精神保健福祉会連合会「月刊みんなねっと」編集長）

演題「欧州から学ぶ、これからの精神科医療のあり方」

#### \* 第 33 回「知ってもらいたい心の病」講演会 （60 名）

平成 31 年 3 月 1 日（金） 場所：ハートフルスクエア G 大研修室 13：30～16：00

講師：森 敏幸 氏（社会福祉法人 舟伏 副理事長・総合施設長）

演題「精神障がい者の地域支援を考える～舟伏の活動から、当事者を主人公に～」

### 『平成 30 年度甲州・東海ブロック家族会 精神保健福祉促進研修会 高山大会』

平成 30 年 11 月 9 日（金）・10 日（土） 高山市民文化会館 （390 名）

大会テーマ「社会的自立に向けた地域精神医療・支援の在り方」

講演「開かれた地域精神医療、進めようアウトリーチを」

講師：伊藤順一郎 医師（メンタルヘルス診療所 しっぽふぁーれ院長）

シンポジウム「地域支援と精神医療のこれからの進むべき道飛騨から」

平成 30 年度 第 11 回全国精神保健福祉家族大会 in 兵庫 （1,500 名参加）

平成 30 年 11 月 26 日（月）・27 日（火）

大会テーマ「精神疾患の本人と家族の明日を切り拓くために」

### JR 等の交通運賃割引運動 （各市議会から国へ意見書提出）

岐阜県（平成 29 年度）

岐阜市、各務原市、関市、高山市、大垣市、瑞穂市、郡上市（平成 30 年度）

2019 年 6 月 26 日に衆参両院の国土交通委員会で採択されました。

## 平成30年度決算報告

収入		円		支出		円	
会費	430,000	事業費	1,511,920				
(家族会費)	290,000	(ブロック大会)	254,112	(別会計¥1,784,112)			
(賛助会費)	140,000	(講演会など)	354,505	「心の病」など			
		(機関紙の発行)	132,264	「ぎふかれん誌」			
		(他団体交流)	111,000	大会分担金など			
		(電話相談)	660,039				
助成金等	1,627,598	管理費	588,165				
(県委託金) *	999,998	(事務所費)	209,203	事務所賃貸料			
(共同募金)	100,000	(給料等)	0	(事務職員無し)			
(助成金) ※	527,600	(通信・運搬費)	56,848	電話・郵送料など			
		(機器等購入)	199,000	パソコン等			
		(その他)	123,114	消耗品、負担金			
寄付金	234,700	次年度繰越金	766,616				
利息	6	合計	2,866,701				
前年度繰越金	574,397						
合計	2,866,701						

※ 助成金 : 岐阜新聞、中日新聞、保健福祉協会、イオンなどから。

\* 県委託金 : 精神保健福祉啓発事業 35 万円、電話相談事業 65 万円

### 物品斡旋事業

多くの皆様にご協力いただき有難うございました。

## 「精神科医療に関する」アンケートのお願い

### 「630調査」ご存知ですか？

厚生労働省が、都道府県を通じ、毎年6月30日時点の全国の精神科医療機関の実態を把握する「精神保健福祉資料」を「630調査」と云います。

今年度、非公開とする都道府県が相次いでいます。(精神科病院の団体の圧力か?)

従来、調査を基に情報提供(病院ごとに入院期間、身体拘束、隔離の有無など)してきた患者の支援団体(東京など)は「病院選びができない」と反発している。

ぎふかれんとして岐阜県に公開要求しましたが、非公開との回答が来ました。

病院が何をしているのか。患者の身体拘束の現状。看護師不足など実態を知る手がかりを失っています。他国に比べて圧倒的に多い病床数、閉鎖的な日本の精神科医療はますます遅れをとっていきます。

「ぎふかれんの精神科医療に関するアンケート」は調査数が少ないですが、各病院の実態が分かると思います。皆さんからの相談の参考資料にしたいと考えております。

# 平成31年度事業計画

## \*精神障がい者家族に対する電話相談事業

毎週 火曜日・木曜日（祝祭日休み）AM10：00～PM3：00

## \*精神保健福祉啓発事業

### 第34回「知ってもらいたい心の病」講演会

日時：令和元年 7月 14日(日) 13:30～16:00

場所：大野町総合町民センター 多目的ホール

講演：「精神障がい者の障害とは？関わり方とその理解について」

講師：河村 眞志 氏（臨床心理士・河村心理相談室）

### 第35回「知ってもらいたい心の病」講演会

日時：令和元年 10月 6日(日) 13:30～16:00

場所：美濃市中央公民館 3階 展示室

講演：「障がい者差別解消法と学齢期における支援教育について  
～家族支援の視点から～」(仮題)

講師：池谷 尚剛 教授（岐阜大学教育学部・特別支援教育講座）

### 精神保健福祉研修会

日時：令和 2年 2月 1日(土) 13:30～16:00

場所：メディアコスモス みんなのホール

講師：青木 聖久 教授（みんなねっと理事）

今年度は、県大会はありません。

## みんなで参加しよう！

### 第12回 全国精神保健福祉家族大会みんなねっと愛知大会

「だれもが幸せと感ぜられる社会を！」

令和元年 11月 7日(木) 10:00～ 刈谷市総合文化センター

11月 8日(金) 9:00～ 刈谷市産業振興センター

1日目 【基調講演】「社会で暮らす当事者のために精神医学は何かできるのか  
:妊娠出産から自動車運転まで」

講師：尾崎 紀夫 教授(名古屋大学大学院医学系研究科)

【記念講演】「ベルギーにおける地域移行について」

講師：バナード・イエイコブ 氏

(ベルギー保健省・精神保健改革コーディネーター)

2日目 分科会①～⑥

# 中濃わかば会の紹介

会長：田中 利正

関市の中央の孫六町という所に「チームわかば」の黄色い壁の2階建ての作業所があります。善光寺というお寺の南東にあり、本町通りの辻屋という有名なうなぎ屋さんの北側になります。

例会は毎月第3土曜日 13:30 からです。2階に幾つかのソファがあり、10人位は十分に座れます。家族会の会員は20名です。大体固定しております。新しい人が来ても長続きしないのが現状で、高齢化が進んでいます。作業所に来るメンバーの親さん方は少ないです。

私は、山田理事長の代役をするようになって3年経ちますが、それ以後に入会されて続けているのは3人位です。関保健所の協力を得て新会員を増やすようにしてはおりますが、長続き致しません。関・美濃両市には、1・2級の精神障がい登録者が、合わせて670人みえますが、家族会への入会者はほんの一部です。

例会には、5~10人位の参加がありますが、近況を話したり、悩みを話して共有する相談が主です。保守的な町なので、地域でも隠そうという意識が強い所です。先ず家族から偏見を無くしていかないと行政も何とも協力出来ないのかもしれませんが。先月の例会で、関市の福祉課長さんがひきこもりを対象に総合相談室という部署が出来たらしいのですが、積極的に利用出来るといいですね。

関・美濃両市の社協より、合計4万数千円の補助金を頂戴しておりますが、「ぎふかれん」の行事に出来るだけ参加をしたり、ご家族のサポートの一部にしたいと思えます。親の元気なうちから将来一人で暮らせるようにしたいものです。それには家族会活動を活発に行かないと。何せ常時参加出来るのは10人位。岐阜市あけぼの会にも参加させてもらって合同に勉強させてください。よろしくお願ひします。



## \*\*\* 推薦本 \*\*\*\*

### ・「統合失調症薬物治療ガイドライン」

編集：日本神経精神薬理学会 出版社：株式会社じほう 価格：1,944円(税込)

### ・みんなねっとライブラリーシリーズ 第1弾

「追体験 霧晴れる時」

著者：青木 聖久(あおき きよひさ) 日本福祉大学教授 社会福祉学博士(精神保健福祉士)

発行：ペンコム 価格：1,404円(税込)

## 相談事例から

メール相談 父親（60代）から 息子（20代後半）について

（火・木曜日は仕事なのでメールにて相談）

息子は、パニック症・不眠・双極性障害・依存症などで、長く引きこもって就労したことがない。今は、薬と認知行動療法を受けている。

息子と二人暮らしを始めたが、私や世の中に反抗的。この先が不安。

→家族会の紹介と勧め

障害年金や精神障害者手帳の取得の勧め

訪問看護サービスなど社会資源の活用の勧め

父→「東濃在住。手帳を申請したばかり。担当医から年金は無理と言われた。」

→家族会（やまなみ会）の具体的紹介。

手帳のサービスの内容。障害年金の取り方・利点・必要性などを説明。

セカンドオピニオンの紹介（大湫病院、聖十字病院の紹介）

電話相談（会長宅に） 母親から 子供（49歳）

子供はテンカン、知的障害、精神障害があり、向精神薬も服用。

愛知県の病院に通院しているが、岐阜県に転院したい。

良い病院がないか？

→傾聴。大学病院・岐阜病院などを打診。愛知県の主治医に転院先の相談を。

電話相談 母親から 娘（19歳）

高校生の娘は統合失調症と診断を受けている。突然、外に飛び出して心配。

誰か家に来て話し相手になってくれる人はいないでしょうか？（私は昼間、仕事に出ているので）娘は、通院し薬は飲んでる。

→訪問看護を勧め、東濃地域のセンターを探してみますと返事。

→「花の木学園」に依頼。

母→お礼。

→訪問看護、B型作業所の利用を勧める。家族会の紹介。家庭での接し方・話し方の指導をする。

### ぎふかれん傘下の精神障がい者家族会

- 岐阜市あけぼの会:服部 058-247-6004 ●かけはし西岐阜:久保 058-277-6113
- いこい会(北方町):安藤 0585-45-5071 ●たんぼぼの会(各務原市):井上 058-383-4698
- いぶき会(大垣市):野々 0584-74-8980 ●ハウス希望(養老町):久保田 0584-32-0088
- 中濃わかば会(関市):田中 090-1284-7882 ●青葉の会(高山市):大下 0577-33-3559
- つくしの家(郡上市):齋藤 0575-88-4910 ●白川町やすらぎ会:安田 0574-73-1541
- 東濃やまなみ会(中津川市):柘植 0573-66-8088
- 東濃さつき会(多治見市):江崎 0572-27-3744 ・ (瑞浪市):0572-56-0206

## 各家族会の例会等のご案内

それぞれの家族会が学習会・相談会などを開催しています。  
興味がある例会にご参加ください。詳しくは「ぎふかれん」へお電話ください。

岐阜市あけぼの会 毎月1回	7/9 (7月例会・保健所パンフレットの学習会) 8/18 (講演会「精神障がい者の居場所と当事者会について」) 9/10 (9月例会)・10/12 (10月例会)・11/7・8「みんなねっと愛知大会」・12/10 (12月例会) 1/18 (講演会)・2/15 (2月例会)・3/10 (3月例会)
たんぽぽの会 毎月第2火曜日	7/9 (学習会)・9/10 (懇談会) 10/11 (懇談会) 11/7・8「みんなねっと愛知大会」12/13 (クリスマス会) 1/未定 (合同学習会)・2/18 (懇談会)・3/10 (次年度計画)
いこい会	7/1 (茶話会) 9/2 (茶話会) 11/7・8「みんなねっと愛知大会」 11/11 (茶話会)・12/18 (忘年会・食事会)・1/6 (茶話会) 2/19 (年金について学習会)・3/2 (茶話会)
かけはし西岐阜 年3回	7/21 (家族会)・11/16 (岐阜高次脳機能障がいフォーラム) 12/8 (クリスマス会)・2/8 (家族会)
いぶき会 奇数月第3土曜日	7/20 家族のつどい・9/12 家族のつどい(杉田先生と雑談会) 11/7.8「みんなねっと愛知大会」・11/16,1/18.家族のつどい
ハウス希望 奇数月	奇数月の第2土曜日午後
中濃わかば会 毎月第3土曜日	例会「わかばサロン」で毎月開催・「わかば通信」で連絡
つくしの家 毎月第2水曜日 10:00~11:30	7月(鮎と流しそうめん)・8月(食事会)・9月(勉強会) 10月(バーベキュー)・11月(紅葉見物)・12月(クリスマス会) 1月(初詣)・2月(食事会)・3月(カラオケ・食事会)
東濃さつき会 毎月第2土曜日	7/2 (理事会)・8月(交流会)・9/14 (保健所・家族教室) 10/12 (保健所・家族教室) 10/14「瑞浪福祉まつり」 11/7.8「みんなねっと愛知大会」・11月(理事会) 11/16 (保健所・家族教室) 12月クリスマス会 1月(理事会・新年会) 2月(家族会) 3月(理事会・家族会)
東濃やまなみ会 年3回	六斎市バザー(毎月第1日曜日)・10/9(マレットゴルフ) 11/7.8「みんなねっと愛知大会」12/21(家族会)
青葉の会 第2火曜日	7/11(例会)、7月下旬(ふれあい夏まつり) 8/8(例会) 9/12(例会)、10月中旬(高山市福祉フェスティバル)、 11/14,12/12,1/9,2/13,3/12(例会)、8月下旬,12月中旬,3月中旬 (リサイクル)

## 月刊「みんなねっと」の購読を！

全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)は精神障がい者の家族会の全国組織です。国の障がい者福祉・医療の施策制定に委員として参画しています。

年間 3,600 円(賛助会員 会費に購読料含む)

発行者 公益財団法人 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)

TEL 03-6907-9211 FAX 03-3987-5466

ご希望の方は連絡してください。

### 家族による家族のための電話相談

同じ悩みを持つ家族だからこそ  
対応できます！

相談日：火曜日・木曜日(10:00~15:00)

TEL：058-271-8169(祝祭日休み)

携帯：090-6587-9838(精神保健福祉士)

HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>



### 会員(家族会員)・賛助会員及びボランティア募集

家族会員は各地区の家族会として、それぞれ募集致しております。

岐阜県精神保健福祉会連合会(ぎふかれん)では、各家族会を会員としたNPO法人として、家族会のネットワークにより、地域精神医療・福祉の向上を目指しています。

是非、会員や賛助会員になっていただき、ご援助お願いします。

会員:1,000円/年 賛助会員:個人1口 1,000円 団体:10,000円

郵便振替口座:00890-9-123784 口座名:岐阜精保福連

### ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

献金者名(平成31年4月1日~令和元年6月15日)

黒田クリニック様 不破ノ関病院様 やまやクリニック様 養南病院様

### ぎふかれん誌に掲載する広告主募集

#### 【編集後記】

「ぎふかれん」63号をやっとお届けすることが出来ました。原稿ありがとうございました。

今後も努力してまいりますので、会員の皆様応援よろしく申し上げます。

編集担当者一同